

教職員自己評価シート <令和7年>

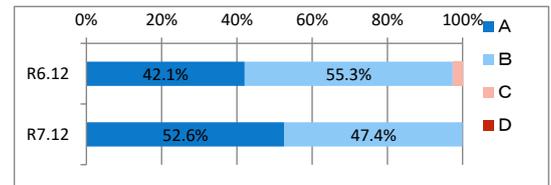
評価: A=そう思う B=ややそう思う C=ややそう思わない D=そう思わない

平均点数: A=4 B=3 C=2 D=1 で点数化したものを人数でわったもの

I 学校経営・学校運営

①あなたは、学校目標に基づき、学校や生徒の実態に即した教育実践を行っていますか。

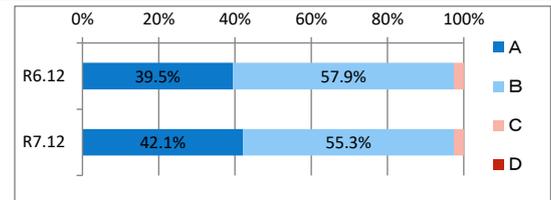
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	42.1%	55.3%	2.6%	0.0%	3.4	97%	3%
R7.12	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%



意見
目標に即して実践をしている。
想いと結果は比例しているわけではないので、生徒に確かな学力が身につくよう指導していく。
日々生徒との対話を大切に、充実した学校生活が送れるよう、日々伝えている。
生徒の実態を把握し、個々に合わせた声かけ、指導、対応を行っている。
学校教育活動全体を通して、対話による関係性を意識した授業・行事を仕組み教育実践を行っている。

②あなたは、P(計画)・D(実行)・C(確認)・A(改善)のサイクルで、教育活動の向上に努めていますか。

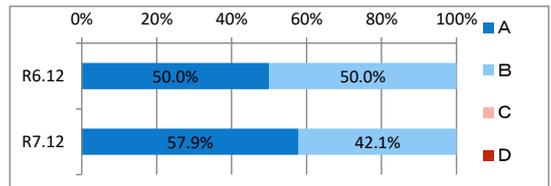
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	39.5%	57.9%	2.6%	0.0%	3.4	97%	3%
R7.12	42.1%	55.3%	2.6%	0.0%	3.4	97%	3%



意見
PDの部分で止まっている。改善に時間を要することができていない。
見直しをもって取り組んでいる。
学習では計画をみて実行している様子を丁寧に言葉かけを行い、結果の改善にアドバイスを送りながら次の目標を立てるよう声掛けを行っている。
授業や行事を振り返り、次回の授業や次年度の行事に活かそうとしている。
教育活動の向上に努めているが、実際はなかなか改善までできていない状況がある。毎回の授業を振り返り、授業改善に努めている。改善点が多い。確認・改善の部分がやや弱い感じを受ける

③あなたは、教職員間において報告・連絡・相談に努め、協力的な取り組みをしていますか。

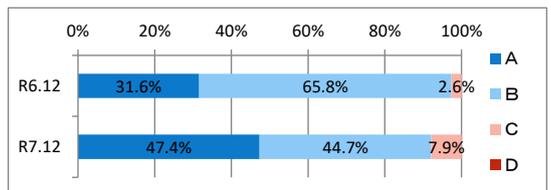
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%
R7.12	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	3.6	100%	0%



意見
逐一の報告、相談が不足している。周りに頼る力が必要。
生徒指導など、自分一人ではできないところでは周りの先生方に助けていただいている。
学年主任を中心に報告し、学年全体に共通理解ができるよう努め、学級間で同じように進められるようお互いに声掛けをして行っている。
生徒の対応や行事の準備など、学年職員を中心に連携を図っている。
他学年と情報が共有しきれていない時があった。特に生徒指導に関しては十分に情報を共有してから生徒を指導するべきだと感じる。
時折「報・連・相」が出来ていないと感ずることがある。多忙な時こそ情報共有を徹底して欲しい。
保健室で見聞きた事案は管理職・学年に情報共有しながら職務に取り組んでいる。

④あなたは、危機管理(防犯・防災・事故等)マニュアルを理解し、指導していますか。

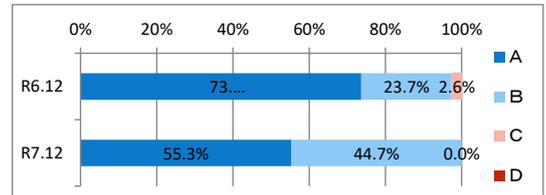
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	31.6%	65.8%	2.6%	0.0%	3.3	97%	3%
R7.12	47.4%	44.7%	7.9%	0.0%	3.4	92%	8%



意見
職員会議などで確認したことを前提にこどもたちの安全管理に努めている。
訓練の際には話をするが、日常的には伝えられている自信はない。
危機管理マニュアルを把握し、日常の生徒指導や定期的な実施する避難訓練に活かしている。
訓練などの前にはよく確認しているが、いざという時に対応できる力をもっとつけないといけないとおもっている。
防災についてはある程度理解し指導している。突発的な防犯や事故に対しては、十分にできていないことが課題である。授業内で安全に対して、配慮している。

⑤あなたは、校務分掌で任された業務に積極的に取り組んでいますか。

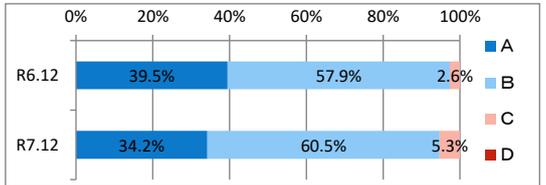
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	73.7%	23.7%	2.6%	0.0%	3.7	97%	3%
R7.12	55.3%	44.7%	0.0%	0.0%	3.6	100%	0%



意見
昨年度よりも任されたことが増えた分、積極的に取り組む気持ちはある。同じ分掌の教員と連絡を密に取りながら行っている。委員会の仕事など、もっと自分ができることをしなければと思っている。主の先生が全てを背負って頑張っていたいただき申し訳なく思う。もう少し声を掛けて頂けるよう自分も心掛けたい。仕事を探し、改善をしながらも少しずつできることを増やした。分掌内容によっては、もう少し工夫や精選ができるとうい。特別支援コーディネーターについても積極的に関わっていききたい。

⑥あなたは、校内研究に主体的に関わっていますか。

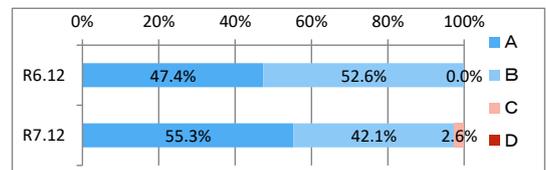
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	39.5%	57.9%	2.6%	0.0%	3.4	97%	3%
R7.12	34.2%	60.5%	5.3%	0.0%	3.3	95%	5%



意見
研究授業について、もう少し校内の先生方にも意見をいただけたらよかった。指導案検討で何も意見がなかったことがあり、不安になった。分掌が研究ですが、授業のコマの関係で研究部会に出られずにいたので、関わりが薄い気がしている。今年度のテーマに向かって、校内研や公開授業の指導案検討などに積極的に参加している。教科で採用されているので、どうよりよくしていくかを考える機会にさせていただいている。また、研究授業などのときは、授業者のみの学びにならないように、学校全体として良い研究になるようにと思い参加している。自分が授業者であるならと考えながら関わっている。

⑦あなたは、諸会議に積極的に参加していますか。

評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%
R7.12	55.3%	42.1%	2.6%	0.0%	3.5	97%	3%

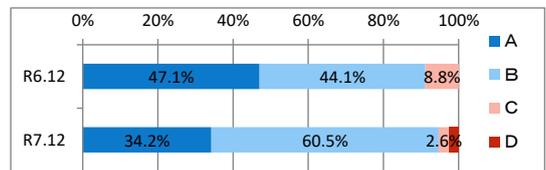


意見
生徒の情報共有など、必要な情報をきちんと受け取れるようにしている。発表する機会が少ないため、意見も言いづらい。分からないことが多すぎて質問したいが、終わる時間が定時退勤を過ぎるので質問したらもっと時間を超過するため質問できずにいる。職員会議や学年会議、分掌会議で提案されたことに対して、意見をしたり質問したりして積極的に参加している。メモをとって、わからないところや欠席された先生方にも説明できるように参加している。学校行事や学園祭等で取組自体の見通しが全体共有できないケースもあった。運営委員会で事前に協議し、職員会議で周知することをもう一度確認をお願いしたい。

II 学習指導

⑧あなたは、教材・教具（ICT機器を含む）を効果的に活用する授業を行っていますか。

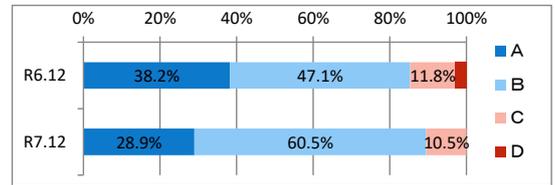
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	47.1%	44.1%	8.8%	0.0%	3.4	91%	9%
R7.12	34.2%	60.5%	2.6%	2.6%	3.3	95%	5%



意見
3年生の理科の授業で2クラス重なっていることがあり、実験器具が使えないことが度々あり、動画などで代用した。プロジェクターにスライドや授業プリントを投影しながら授業を行ったり、クラスルームに課題やテストの振り返りを提示したりしている。ICTの活用は課題を感じている。今年度、機会は多くないが、ICT活用を意識して授業を行っている。教材・教具を使っても最大限または効果的に使えていないように感じる。積極的に活用したいと思っはいるものの、なかなか頻繁にはできないのが現状である。ICTの活用は増えてきたが、「効果的」という点で、教員が提示に使用するだけでなく、生徒の情報共有や他者参照等に積極的に活用し、表現活動を充実させたい。

⑨あなたは、生徒が積極的に読書活動に取り組むよう指導していますか。

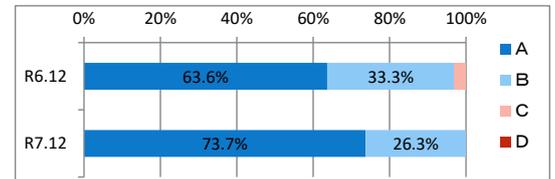
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	38.2%	47.1%	11.8%	2.9%	3.2	85%	15%
R7.12	28.9%	60.5%	10.5%	0.0%	3.2	89%	11%



意見
読書の静寂な雰囲気を保てるようにしている。目線が別の方向を向いている生徒には声をかけている。リソースでの取り組みなど、積極的に周知しようと思う。朝読書など、その都度学級文庫の本を利用している生徒が多く、継続的な読書につながっていない傾向がみられる。自分で用意した(選んだ)本をじっくり読む習慣を身に付けさせたい。十分に指導できていない面や日常的に指導できていない点もあるが、授業の中で読書活動につながるような課題に何度か取り組んだ。

⑩あなたは、授業の始めに生徒に授業のめあて(目標)を示していますか。

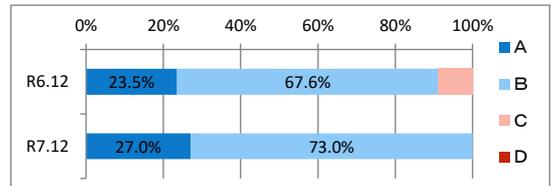
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	63.6%	33.3%	3.0%	0.0%	3.6	97%	3%
R7.12	73.7%	26.3%	0.0%	0.0%	3.7	100%	0%



意見
めあては毎時間提示している。全クラスにめあてのマグネットがあり、どのクラスでも活用できてありがたい。スライドを投影したり板書をして提示するよう努めている。授業プリントに単元のめあてを提示している。授業に意味を持たせて取り組ませている。全般的には、めあてが提示されていると思う。ただ、校内研でも「めあてカード」的なものを用意して下さっているが、あまり利用させておらず、めあての提示タイミングや意識付けの程度もばらつきがあるように感じられる。

⑪あなたは、授業や単元の終わりに、生徒がめあてを達成しているかを評価していますか。

評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	23.5%	67.6%	8.8%	0.0%	3.1	91%	9%
R7.12	27.0%	73.0%	0.0%	0.0%	3.3	100%	0%

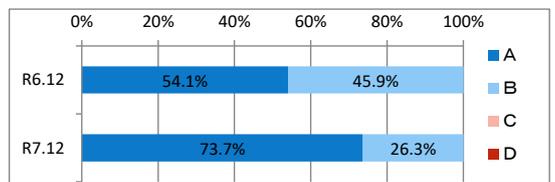


意見
短縮授業の時に、時間がとれないことがある。振り返りシートやまとめプリントを活用し、評価を行っている。振り返りを行い、めあてについて考えさせる時間を設けている。評価しているが、生徒自身の振り返りという意味ではまだまだ課題があると感じている。「振り返り」はシートやフォームなどを利用して行っている授業が多いと思うが、意外と評価はテスト結果などだけに頼っているように思われる。

III 生徒指導・生活指導

⑫あなたは、児童理解のために、日頃から様々な方法でコミュニケーションを図っていますか。

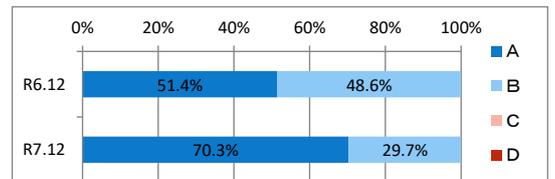
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	54.1%	45.9%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%
R7.12	73.7%	26.3%	0.0%	0.0%	3.7	100%	0%



意見
会話やカウンセリングを通して、クラス全員に1回はコミュニケーションを取るようにしている。対面をもちろん一番大切にしているが、デイリーライフなどでのやりとりも大切にしている。副主任としての関わり方をもっと模索するべきだと感じている。挨拶をはじめ、生徒とかかわるようにしている。生徒の言葉遣いが気になっている先生方も多いのではないかと。だからこそ、私たち教員自身が、丁寧に前向きな言葉がけを意識していきたい。

⑬あなたは、諸問題(いじめ・不登校等)の早期発見・早期対応に努めていますか。

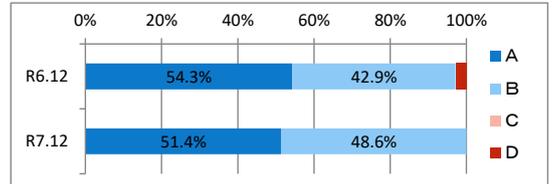
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	51.4%	48.6%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%
R7.12	70.3%	29.7%	0.0%	0.0%	3.7	100%	0%



意見
生徒の変化に気づくことができるように、生徒の情報共有の場を学年でもう少し取っていきたく感じている。生徒の動向に鈍感な方なので、普段の様子と違ったりするところを見つけたら早めに声をかけるようにしている。いじめにつながるよう、生徒のちょっとした発言を気にし、必要であれば言い方を変えるよう指導したり、なぜそのような発言をしたのかを聞いたりして、指導を行っている。また不登校対応については保護者と協力し電話で情報共有を行ったり、時間をずらして登校し、生徒と担任が直接話をする機会を設定したりしている。やはり事が起こってからではなく、日々の声掛けや指導が大切に感じる。

⑭あなたは、生徒の規範意識や道徳性を育む指導に取り組んでいますか。

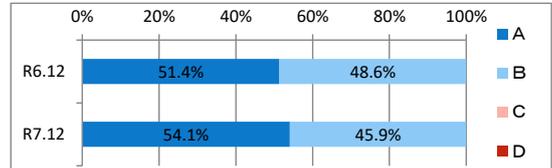
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	54.3%	42.9%	0.0%	2.9%	3.5	97%	3%
R7.12	51.4%	48.6%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%



意見
朝の会、帰りの会で規律の確認と頑張りの評価をする。
教員全員が同じ足並みでいられるように、どんなことに関しても指導の基準をきちんと確認しておく必要があると思った。
「こうするとこうなる」など具体的にHRを通じて日々伝えている。
生徒にはダメなものはダメと指導していきたい。
朝の会、帰りの会の時間を大切にしている。特にあいさつや返事、話し方に対して、言い直させたりはっきりといわせたりしている。
学校全体として、時には厳しいさや先生方の思いなどを熱く伝えていく場面も欲しい

⑮あなたは、児童・生徒が進んであいさつするよう指導していますか。

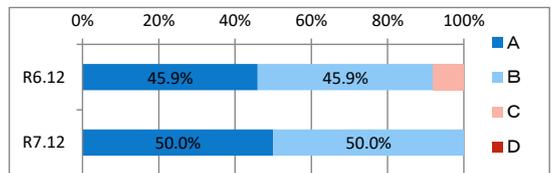
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	51.4%	48.6%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%
R7.12	54.1%	45.9%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%



意見
集団でいる時に自分からできる挨拶といつでもどこでもだれにでもできる挨拶を大切にするように日々伝えている。
その場にあったあいさつやあいさつの重要性について考えさせる指導を行った。
在校中は、可能な限り進んであいさつを心がけている。しかし生徒の実態は、自分からあいさつのできる生徒:1~2割、あいさつされれば返してくれる生徒7割程度、あいさつされても返さない生徒:1~2割ぐらいでしょうか。
全教員で足並みをそろえて、できていなければ指導していくことを徹底したい。
自分から積極的にあいさつをすることにより、あいさつがかえってくることは多くなったが、生徒から自発的に挨拶する姿はまだまだ少なく感じる。

⑯あなたは、特別支援教育の理念を理解し、個に応じた関りをしていますか。

評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	45.9%	45.9%	8.1%	0.0%	3.4	92%	8%
R7.12	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%

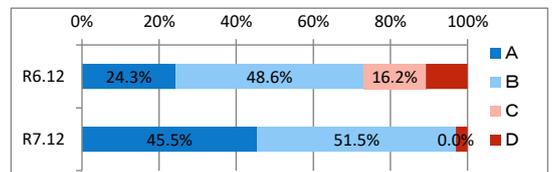


意見
学級内で、個別で対応の必要な生徒には、なるべく目線を合わせている。
生徒の困り感を本人や保護者と確認しながら、適切な支援方法を検討・実施している。
支援学級の生徒や、通常学級に在籍し困り感の強い生徒には、実態や困り感を把握し、それを克服・改善できるよう手立てを考え、実施している。また今年度はわかば交流担当であったため、自分のクラスの生徒に「他者を理解する」というテーマで交流会を実施することができた。
学校全体では関わりが弱い気がする。
対象はある程度限定的ではあるが、極力声かけや関わりをもつようにしている。

IV 地域・保護者との連携

⑰あなたは、学校の教育活動について、おたよりやホームページを通して保護者や地域に広報していますか。

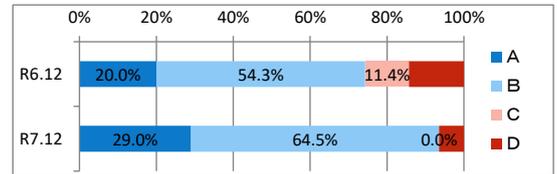
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	24.3%	48.6%	16.2%	10.8%	2.9	73%	27%
R7.12	45.5%	51.5%	0.0%	3.0%	3.4	97%	3%



意見
学級通信などはほかの先生方に比べ少ない。
学級通信を出しているが、もう少し頻度を上げたい気持ちはある。
学級通信をなるべく多く発行して、保護者に学校の様子を伝えるように努めている。
担任ではないので、なかなかそういう場面がないが、安心安全メールで多くの場面で活動の様子をアピールしている。
学校はホームページや「あやめ」などのお便りを発行し、保護者や地域の方々に学校の教育活動について広報していると感じる。
1学期は学級通信を通してある程度できたかと思うが、1学期後半以降はできていない。
おたよりやホームページの更新は頻繁に行っている。
メール等での配信は充実していると思うが、ホームページによる地域への発信(広報)は、もう少し充実させてもよいのではと感じる。

⑱あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っていますか。

評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	20.0%	54.3%	11.4%	14.3%	2.8	74%	26%
R7.12	29.0%	64.5%	0.0%	6.5%	3.2	94%	6%

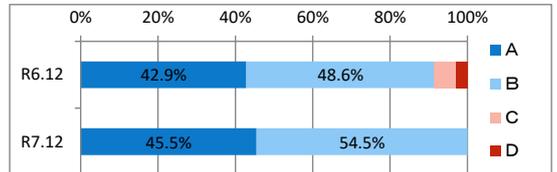


意見
地域のイベントには積極的に参加しよう声をかけている。
小笠原流礼法では網倉先生から指導をいただいたり、夏には地域の研修に参加して生徒たちに結び紐を提示して触れたりすることをした。なかなかそういう場面を仕組むことができず、できていない。
榊原中学校は小笠原流礼法や弁護士出前授業、職業講話などで、外部講師の方や地域の方を招いて授業を行っていると感じる。活用場面や活用方法の事例を学び、少しずつでも地域の教育力を生かす指導を行っていききたい。
地域にあった話題から授業につなげている。

V 小中一貫教育

⑲あなたは、対話を意識した学び合いを授業に取り入れていますか。

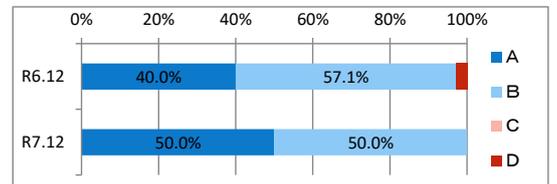
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	42.9%	48.6%	5.7%	2.9%	3.3	91%	9%
R7.12	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%



意見
毎回の授業では難しく、意見交換をする問題を意図的に取り入れている。
社会の授業の中で学び合いを取り入れ、生徒同士で話し合い答えを一緒に見つけ出したり、疑問点を出し合ったりすることを大切にしている。
学び合いができる環境づくりがまず必要で、難しいなと感じている。
くっしータイムのグループや話型などを活用している協働的な学びが十分にできていないと感じている。
教師主導になってしまう場面もまだまだみられる。(その全てが、必ずしも悪いということではないが)
「学び合い」の目的や方法については、全教職員が共通理解のもとで、効果的に進めたい。

⑳あなたは、深い学びになるよう、課題や発問の工夫をしていますか。

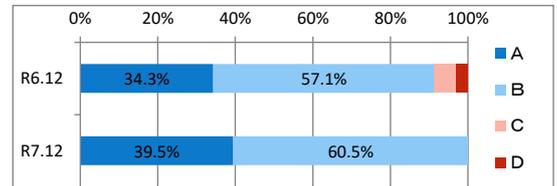
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	40.0%	57.1%	0.0%	2.9%	3.3	97%	3%
R7.12	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	3.5	100%	0%



意見
深い学びまでの工夫は足りていないと感じる。
日常に密着した課題を設定するように心がけている。
生徒の意見を汲んで、発展的な内容になるよう伝えている。また「なぜこのようになるのか」を生徒に投げかけることで既習事項を確認しながら内容を深められるように展開している。
生徒に考えてほしい問いを精選したり、社会が得意な生徒が飽きずに授業へ向かうようにするために、発展的な問いを設定したりしている。
身近な内容を取り入れ、自分の関わりがあるようにしている。
ICTの活用方法が資料提示だけになっていることがある、スプレッドシートなどを活用しながら、他者の考えを知り、協働的な学びへとつながる活用を増やしてほしい。

㉑あなたは、Simpleプログラムの目的意識を理解して、指導に取り組んでいますか。

評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	34.3%	57.1%	5.7%	2.9%	3.2	91%	9%
R7.12	39.5%	60.5%	0.0%	0.0%	3.4	100%	0%

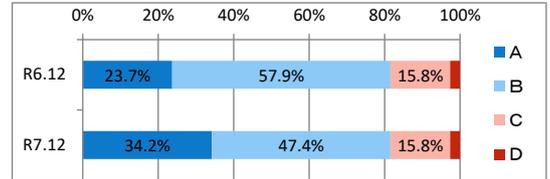


意見
くっしータイムを中心に、話すことを意識させている。
くっしータイムは指導案があり分かりやすい。ただ、先生によって振り返りの仕方が違う気がするので、それが統一すべきなのか、そのままでもいいのか、と思った。
授業での対話的な活動では、3～4人のグループで行い、始めや終わりの挨拶を心がけている。
くっしータイムの目的を理解し、生徒のコミュニケーションスキルの向上にむけて指導に当たっている。
よく実践されていると感じる。小学校からの継続で、生徒にとっては取り組みやすいと思うが、対効果で考えると、もう少し内容のレベルが上がってもよいかなとも…。
校内研で確認した通り、くっしータイムを活用しているがもう一度目的を確認し、より対話的な活動にしていきたい。

V 学校の特徴に関して

②あなたは、働き方改革を意識して、積極的に業務改善に取り組んでいますか。

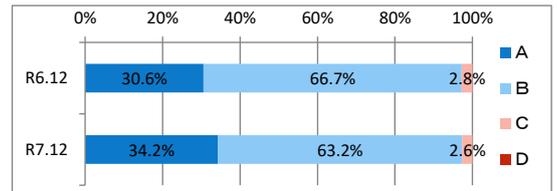
評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	23.7%	57.9%	15.8%	2.6%	3.0	82%	18%
R7.12	34.2%	47.4%	15.8%	2.6%	3.1	82%	18%



意見	<p>自分のペースでやって、今の時間なので、効率性や必要性を精査して行く必要がある。 どうしても無理な時は、部活動を躊躇なくオフにできるようになった。 仕事量が多く、タスク管理が難しいと感じている。 見通しが持てればタスクを明確に分けていくことができる。 もっと効率よく、優先順位を大切に仕事をしたい。 意識しても業務は後付けされるのが現状。 時間を有効に活用し、できる限り早く退勤できるよう、以前よりは意識している。 時間をかければよいというわけではないことを理解し、時間の使い方や効率を考えている。 全体で考えるならば、もう少し活動を精選させること、会議資料の事前提案(配布)徹底、伝達事項の復唱削減など優先順位を考えた業務の遂行を具体的な手段として取り組めるとさらによいのではと思う。意識するだけでは、なかなか仕事は減っていかない。 全員が担当者の意識を持ち取り組んでいただきたい。</p>
----	---

③あなたは、新学習指導要領の概要について理解し、指導、評価について一人ひとりに目を向け、個の力の伸長に取り組んでいますか。

評価 年月	A	B	C	D	平均点数	肯定的回答	否定的回答
R6.12	30.6%	66.7%	2.8%	0.0%	3.3	97%	3%
R7.12	34.2%	63.2%	2.6%	0.0%	3.3	97%	3%



意見	<p>学習指導要領をもとに評価規準を設定している。 生徒の特性を理解することにつとめている。 提出物を通じて指導、評価することに努めている。 指導要領を理解し、個の伸長にむけて指導、評価を行っている。 個別最適な学びを取り入れようとは考えているが、実践できていない。 指導と評価の過程で生徒一人ひとりの主体的な学びを尊重し、個の可能性を広げる実践を展開している。 指導と評価の一体化に向けては、自己の意識を高めるとともに、折に触れ若手教員にも伝えるようにしている。</p>
----	--

自由記述

意見	<p>ICT等不慣れなことも多いのでまだまだであるが、努力したいと思っている。 本校の先生方は、生徒の資質向上のためによく努力していると思う。同時に自分自身についても、できる限り教育活動の向上に向けて努力を惜しまず取り組みたい。 生徒指導について課題を感じる。特に必要と感じるのは、対応のスピーディーさ。指導の継続中に次の問題が起きないように、一つ一つの指導をきちんと終わらせる。同様の指導が続かないような、生徒の心に響く指導。 学級力の向上は、急務。学力向上のベースは学級力。来年度の校内研究は、「学級づくり」について研究していく必要がある。</p>
----	---